

# 10/17 農業就職・転職LIVE

## セミナースケジュール

11:00~11:30

### 農業初心者講座 ～本日のフェアを有効に活用するために～

農業法人に就職希望の方向けに、そのポイントと留意点をお伝えします。また、農業を仕事にするための就農方法や農業法人に就職後農業経営者になるにはどんなことが必要なのか、そのポイントと留意点をわかりやすく解説します。農業を仕事にと考えている人がすぐに次の一步を踏み出すためのセミナーです。

深瀬 貴範 氏



#### 【PROFILE】

1985年株式会社リクルートフロムエー(現リクルートジョブズ)入社。営業・人事(新卒採用・労務管理)・人材斡旋部門でIT業界のキャリアアドバイザーを経て2013年より農林水産省と農業人材の確保について取り組む。

12:00~12:30

### 工学部卒自転車トップメーカーから農ある暮らしで得た感動 ～サラリーマン農業3年目の哲学～

農業を始めるには色々な目指し方があります。大手自転車メーカーのマーケティング部から農業へ転身した山田さんが、農業を仕事にするうえで不安と問いながら1,200時間の研修を経て自分の目指す農業に至るまでのプロセスを紹介。独立か就職かの葛藤の中、色々な人に会いたくさんお話を聞く事であえて就職を選択した山田さんが、大企業での働き方と農業法人の今をわかりやすくご紹介。

(株)えと菜園 山田 直明 氏



【PROFILE】岡山県出身。北海道大学工学部卒業。弓道参段。卒業後自転車メーカーに就職し、マーケティング部に所属。会社に勤めながら週末体験農園コトモファームに通い、野菜作りを学びながらその面白さを知る。また、様々な農家さんと出会う中で農家になる事を決意。会社を辞め、神奈川県藤沢市の有機農家相原農場にて農業研修を受ける。その後、株式会社えと菜園、NPO法人農スクールに所属。現在会社では、野菜の生産、体験農園の運営を行い、農業を使った就労支援プログラムの講師を務める。NPOでは国の事業である「地域の新規就農サポート支援事業」を進める。

13:00~13:30

### 農業を始めるうえで農業の技術はどうするの? ～現役農家が教える「農業研修とは」～

農業を始めるうえで必要なのは「土地」「資金」そして何より大切なのは「農業技術」です。農業技術を習得するには①学校に行く②農業法人に就職③研修生として農家で働きながら技術を習得する方法があります。今回は実際に研修生の受け入れ実績豊富な現役農家さんが「研修に入るとどんなことが身につくか」「1日のスケジュールは」「どんな心構えで臨むか」「研修その後」についてわかりやすくお話しします。

さいのね畑 代表 竹川 英識 氏



#### 【PROFILE】

2010年に独立新規就農し、千葉県の一宮町で無農薬・無化学肥料栽培の野菜やハーブと平飼養鶏卵の生産を行う。個人宅への野菜・タマゴセットの定期便と飲食店への直売がメイン。後進の育成にも力を入れており、2013年より毎年2~3名の研修生を受入れ、少数精鋭スタイルで卒業生の大半を各地での独立まで導いている。

14:00~14:30

### 農業法人の経営者が語る ～農業法人の求める人物像・農業法人で活躍できる人物～

「子供の頃、「農家の跡取り」って言われるのが嫌でした。カッコいい仕事に憧れていました。しかし今では、農業でもカッコいいこと、楽しいことできると思っています。地域の方々、子供たちに農業が素敵な仕事だと感じてもらいたいです。野菜づくりにゴールはない」と農業を語る榎本さんが、農業法人で働くうえで求められるもの、活躍できる人物タイプを語ってくれます。

(株)エノファ(さいたま榎本農園)代表取締役社長 榎本 健司 氏



【PROFILE】1977年 埼玉県さいたま市出身。酪農学園大学卒業後、さいたま市役所農業技術職として13年勤務。農家の父が急逝、退職後就農。公務員時代に得た農業技術、政策、法律知識などをフルに生かし、最先端技術導入の先駆者としてオンライン農家として活動。「生産+α」を軸とし、飲食・加工・教育・体験の事業展開をしている。栽培品目は、施設トマト15種類十年150種類の露地野菜を生産。2013年「さいたま榎本農園」代表、2020年2月に法人化、株式会社エノファ設立。トマト栽培の勉強のため、全国飛び回り、また海外に種を買い付けに行く活動家。